

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
稲敷市	東地区 (あずま南、結佐、あずま東、 本新、あずま北、あずま中央) あずま西)	2022年2月25日	

東地区	あずま南	余津谷、清久島、橋向、押砂、曲測、四ツ谷
	結佐	六角、結佐、八千石
	あずま東	八筋川、境島、大島、三島、西代、佐原下手、
		飯島、上之島、石納
	本新	本新、浮島（飛地）
	あずま北	上須田、阿波崎、下須田
	あずま中央	佐原組新田、手賀組新田、伊佐部、釜井
あずま西	幸田、脇川、中島、福田、市崎、町田、東大沼、	
	清水、新橋	

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	3910.6 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	2947.3 ha
③ 地区内における70才以上の農業者の耕作面積	695.1 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	274.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	43.0 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1230.3 ha
(備考)	
<p>市南部に位置し、大部分が低地のエリアで、主に水稻等の水田を利用する農業が営まれている。本新やあずま西の一部ではレンコン等が生産が増加している。圃場は平坦なエリアが多く、区画の拡大が容易であり、経営規模の拡大に比較的適している。</p>	

※ 2 対象地区の課題、3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針については集落別に記載する。

集落名	あずま南	余津谷、清久島、橋向、押砂、曲淵、四ツ谷
-----	------	----------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は増えてきているが、今後担い手はやや不足が想定される。
- 全体的に圃場条件は良く農地の集積が進みつつあるが、一部のエリアでは区画が小さく効率性に劣っている。
- 担い手の耕作地が点在しており集約化が進んでいないが、一部の規模拡大経営体は拠点集落付近に集約を進めている。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha～50ha以上規模の水稻経営や水稻+ α の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 農作業の省力化を目標とした、ICTなどを活用した次世代型農業「スマート農業」の推進を図っていく。

集落名	結佐	六角、結佐、八千石
-----	----	-----------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は増えてきているが、今後担い手はやや不足が想定される。
- 全体的に圃場条件は良く農地の集積が進みつつある。
- 担い手の耕作地が点在しており集約化が進んでいないが、メガファーム育成事業の影響で、一部の規模拡大経営体については、団地化への動きが出てきている。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域の生産組合やライスセンターの活用を検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稻経営や水稻+ α の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 農作業の省力化を目標とした、ICTなどを活用した次世代型農業「スマート農業」の推進を図っていく。

集落名	あずま東	八筋川、境島、大島、三島、西代、佐原下手、飯島、上之島、石納
-----	------	--------------------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は少なく、今後担い手不足が想定される。
- 全体的に圃場条件は良く農地の集積が進みつつあるが、一部のエリアでは区画が小さくまた、用排水設備が不十分な箇所がある。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域の生産組合やライスセンターの活用を検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲+ α の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。
- 農作業の省力化を目標とした、ICTなどを活用した次世代型農業「スマート農業」の推進を図っていく。

集落名	本新	本新、浮島（飛地）
-----	----	-----------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は少なく、今後担い手はやや不足が想定される。
- 全体的に圃場条件は良く農地の集積が進みつつあるが、一部のエリアでは区画が小さく効率性に劣っている。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営体や4ha規模のレンコン経営体、また水稲+ α の複合農業を推進する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。

集落名	あずま北	上須田、阿波崎、下須田
-----	------	-------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は少なく、今後担い手不足が想定される。
- 一部では区画が小さかったり、隣接圃場と高低差がある場合があり簡単に大区画化ができないことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 全体的に圃場条件は良く、農地の集積が進みつつある。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域の生産組合やライスセンターの活用を検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲+ α の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。
- 農作業の省力化を目標とした、ICTなどを活用した次世代型農業「スマート農業」の推進を図っていく。

集落名	あずま中央	佐原組新田、手賀組新田、伊佐部、釜井
-----	-------	--------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は少なく、今後担い手はやや不足が想定される。
- 一部では区画が小さかったり、隣接圃場と高低差がある場合があり簡単に大区画化ができないことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 全体的に圃場条件は良く、農地の集積が進みつつある。
- 担い手の耕作地が点在しており集約化が進んでいないが、一部の規模拡大経営体は拠点集落付近に集約を進めている。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域の生産組合やライスセンターの活用を検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha~50ha以上規模の水稲経営や水稲+ α の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 農作業の省力化を目標とした、ICTなどを活用した次世代型農業「スマート農業」の推進を図っていく。

集落名	あずま西	幸田、脇川、中島、福田、市崎、町田、東大沼、清水、新橋
-----	------	-----------------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は少なく、今後担い手はやや不足が想定される。
- 一部では区画が小さかったり、隣接圃場と高低差がある場合があり簡単に大区画化ができないことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 谷津田のエリアや一部の基盤整備が不十分なエリアは、圃場条件が悪いため耕作放棄地が増えている。
- 谷津田エリアでは、耕作放棄地の増加にともない近年鳥獣被害が増加している。
- 全体的に圃場条件は良く、農地の集積が進みつつある。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 基盤整備が不十分なエリアでは、基盤整備事業が計画されており、事業に合わせて担い手への集積や耕作放棄地の解消を進める。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域の生産組合やライスセンターの活用を検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha～50ha以上規模の水稻経営体や4ha規模のレンコン経営体、また水稻＋レンコン等の複合農業を推進する。兼業のあり方について検討する。
- 農作業の省力化を目標とした、ICTなどを活用した次世代型農業「スマート農業」の推進を図っていく。

中心経営体（東地区）

	属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
			経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
1	認農法	A	水田農業	38.1 ha	水田農業	40.0 ha	あ南・あ西
2	認農	B	水田農業	5.5 ha	水田農業	8.0 ha	あ南
3	認農	C	水田農業	6.1 ha	水田農業	9.0 ha	あ南
4	認農	D	水田農業	5.8 ha	水田農業	20.0 ha	あ南・あ西
5	認農	E	水田農業・施設園芸	13.9 ha	水田農業・施設園芸	15.0 ha	あ南・あ中
6	認農法	F	水田農業	53.4 ha	水田農業	70.0 ha	あ南・結佐
7	認農	G	水田農業	7.4 ha	水田農業	7.5 ha	あ南・あ中
8	認農	H	水田農業	6.6 ha	水田農業	7.2 ha	あ南・あ中
9	認農	I	水田農業	8.2 ha	水田農業	11.0 ha	あ南
10	認農	J	水田農業	8.4 ha	水田農業	14.0 ha	あ南
11	認農	K	水田農業	10.8 ha	水田農業	15.0 ha	あ南
12	認農	L	水田農業	8.3 ha	水田農業	12.0 ha	あ南・結佐
13	認農法	M	水田農業	33.0 ha	水田農業	62.0 ha	あ南・結佐・あ中
14	認農	N	水田農業	3.5 ha	水田農業	6.2 ha	あ南
15	認農	O	水田農業	19.3 ha	水田農業	20.0 ha	あ南・あ中
16	認農	P	水田農業	7.2 ha	水田農業	10.0 ha	あ南・あ中
17	認農	Q	水田農業	24.7 ha	水田農業	28.0 ha	あ南・あ中
18	認農法	R	水田農業	105.9 ha	水田農業	150.0 ha	古渡・阿波・結佐・あ西
19	認農	S	水田農業	10.7 ha	水田農業	16.5 ha	結佐・あ中
20	認農	T	水田農業	5.0 ha	水田農業	11.0 ha	結佐
21	認農	U	水田農業	11.0 ha	水田農業	15.0 ha	結佐・あ北
22	認農	V	水田農業	5.8 ha	水田農業	8.0 ha	結佐
23	認農	W	水田農業	10.0 ha	水田農業	15.0 ha	結佐
24	認農	X	水田農業	20.5 ha	水田農業	25.0 ha	結佐・あ中
25	認農	Y	水田農業	7.2 ha	水田農業	13.0 ha	あ南・結佐・あ中
26	認農	Z	水田農業	23.8 ha	水田農業	29.0 ha	結佐・あ中
27	認農	A A	水田農業	7.3 ha	水田農業	10.0 ha	結佐・あ中
28	認農	A B	水田農業	13.8 ha	水田農業	19.0 ha	結佐
29	認農	A C	水田農業	5.4 ha	水田農業	8.0 ha	結佐
30	認農	A D	水田農業	13.4 ha	水田農業	15.0 ha	結佐
31	認農	A E	水田農業	6.5 ha	水田農業	8.8 ha	結佐
32	認農	A F	水田農業	14.6 ha	水田農業	15.0 ha	あ東
33	認農	A G	水田農業	6.9 ha	水田農業	12.8 ha	あ東
34	認農	A H	水田農業	7.1 ha	水田農業	22.0 ha	あ東
35	認農	A I	水田農業	8.6 ha	水田農業	10.0 ha	あ東
36	認農	A J	水田農業	5.8 ha	水田農業	8.0 ha	あ東
37	認農	A K	水田農業	5.3 ha	水田農業	10.0 ha	あ東
38	認農	A L	水田農業	15.7 ha	水田農業	17.0 ha	あ東
39	認農	A M	水田農業	10.1 ha	水田農業	15.0 ha	あ東
40	認農	A N	水田農業	15.4 ha	水田農業	20.0 ha	あ東
41	認農	A O	水田農業	16.9 ha	水田農業	22.0 ha	あ東
42	認農	A P	水田農業	14.1 ha	水田農業	45.0 ha	あ東

43	認農	A Q	水田農業	31.5 ha	水田農業	35.0 ha	あ東・本新
44	認農	A R	水田農業	6.8 ha	水田農業	16.5 ha	あ東
45	認農	A S	水田農業	13.3 ha	水田農業	15.0 ha	あ東
46	認農	A T	水田農業	11.0 ha	水田農業	15.0 ha	あ東
47	認農	A U	水田農業	14.2 ha	水田農業	22.0 ha	あ東
48	認農法	A V	水田農業	28.1 ha	水田農業	483.0 ha	本新・あ中
49	認農	A W	水田農業	15.5 ha	水田農業	17.0 ha	本新
50	認農	A X	水田農業	28.7 ha	水田農業	59.6 ha	本新
51	認農	A Y	水田農業	5.4 ha	水田農業	10.0 ha	あ北
52	認農	A Z	水田農業	11.6 ha	水田農業	13.0 ha	阿波・浮島・あ北
53	認農	B A	水田農業	5.4 ha	水田農業	10.0 ha	あ北・あ中
54	認農	B B	水田農業	18.0 ha	水田農業	20.0 ha	結佐・あ北
55	認農	B C	水田農業	18.7 ha	水田農業	19.0 ha	西甘・あ北・あ中
56	認農	B D	水田農業	7.7 ha	水田農業	10.8 ha	あ北
57	認農	B E	水田農業	12.8 ha	水田農業	15.0 ha	結佐・あ北
58	認農	B F	水田農業・施設園芸	26.1 ha	水田農業・施設園芸	29.2 ha	結佐・あ北
59	認農	B G	水田農業	13.7 ha	水田農業	35.0 ha	浮島・あ北
60	認農	B H	水田農業	14.3 ha	水田農業	16.0 ha	西甘・浮島・あ北
61	認農	B I	水田農業	15.7 ha	水田農業	20.0 ha	西甘・あ北
62	認農	B J	水田農業	22.7 ha	水田農業	25.0 ha	西甘・あ北・あ中
63	認農	B K	水田農業	4.1 ha	水田農業	7.0 ha	あ北
64	認農	B L	水田農業	9.0 ha	水田農業	10.3 ha	あ北
65	認農	B M	水田農業	9.7 ha	水田農業	10.5 ha	あ北
66	認農	B N	水田農業	8.7 ha	水田農業	11.0 ha	あ北
67	認農	B O	水田農業	17.4 ha	水田農業	20.0 ha	阿波・西甘・あ北
68	認農	B P	水田農業	15.5 ha	水田農業	25.0 ha	阿波・あ北
69	認農法	B Q	水田農業	53.1 ha	水田農業	95.7 ha	阿波・あ南・あ中・あ西
70	認農	B R	水田農業	10.0 ha	水田農業	15.0 ha	あ中
71	認農法	B S	水田農業	74.4 ha	水田農業	101.2 ha	あ南・あ北・あ中
72	認農	B T	水田農業	22.3 ha	水田農業	25.0 ha	結佐・あ中
73	認農法	B U	水田農業	149.3 ha	水田農業	150.0 ha	あ南・結佐・あ中
74	認農	B V	水田農業	41.0 ha	水田農業	52.0 ha	あ中
75	認農	B W	水田農業	8.6 ha	水田農業	11.0 ha	あ南・あ中央
76	認農	B X	水田農業	2.7 ha	水田農業	10.0 ha	あ中
77	認農	B Y	水田農業	10.2 ha	水田農業	21.0 ha	あ西
78	認農	B Z	水田農業	6.6 ha	水田農業	7.2 ha	あ西
79	認農	C A	水田農業	12.0 ha	水田農業	15.0 ha	あ西
80	認農	C B	水田農業	5.5 ha	水田農業	10.0 ha	あ西
81	認農	C C	水田農業	10.1 ha	水田農業	14.0 ha	あ西
82	認農	C D	水田農業	6.3 ha	水田農業	7.8 ha	あ西
83	認農	C E	水田農業	12.9 ha	水田農業	13.5 ha	あ南・あ中・あ西
84	認農	C F	水田農業	11.5 ha	水田農業	15.0 ha	高田・あ東・あ中・あ西
85	認農	C G	水田農業	21.0 ha	水田農業	25.0 ha	太田・あ南・あ東・あ北・あ西
86	認農法	C H	水田農業	38.6 ha	水田農業	70.6 ha	高田・あ南・あ西
87	認農	C I	水田農業	10.9 ha	水田農業	15.0 ha	あ南・あ西

88	認農	C J	水田農業	16.0 ha	水田農業	20.0 ha	あ北・あ西
89	認農	C K	水田農業	36.3 ha	水田農業	40.0 ha	結佐・あ北・あ西
90	認農	C L	水田農業	17.7 ha	水田農業	25.0 ha	あ南・あ北・あ中・あ西
91	認農	C M	水田農業	33.9 ha	水田農業	61.0 ha	あ南・結佐・あ北・あ中・あ西
92	認農	C N	水田農業	38.7 ha	水田農業	40.0 ha	あ西
93	認農	C O	水田農業	50.8 ha	水田農業	55.0 ha	高田・あ南・あ北・あ中・あ西
94	認農	C P	水田農業	6.6 ha	水田農業	18.7 ha	あ西
95	認農	C Q	水田農業	19.9 ha	水田農業	30.0 ha	太田・あ西
96	認農	C R	水田農業	18.6 ha	水田農業	35.0 ha	あ西
97	認農	C S	水田農業	32.5 ha	水田農業	52.5 ha	高田・太田・あ西
98	認農	C T	水田農業	28.0 ha	水田農業	30.0 ha	あ西
99	認農	C U	水田農業	41.9 ha	水田農業	45.0 ha	あ北・あ中・あ西
100	認農	C V	水田農業	17.0 ha	水田農業	19.2 ha	あ西
101	認農法	C W	水田農業・施設園芸	18.9 ha	水田農業・施設園芸	23.7 ha	あ中・あ西
102	認農	C X	水田農業・施設園芸	9.2 ha	水田農業・施設園芸	10.0 ha	あ西
103	認農	C Y	水田農業・施設園芸	1.3 ha	水田農業・施設園芸	1.3 ha	あ南
104	認農	C Z	水田農業	3.2 ha	水田農業	6.5 ha	本新
105	認農	D A	水田農業	37.6 ha	水田農業	81.0 ha	本新
106	認農	D B	水田農業	9.1 ha	水田農業	13.1 ha	高田・あ南・あ西
107	認農	D C	水田農業	10.4 ha	水田農業	19.0 ha	あ西
108	認農	D D	水田農業	4.3 ha	水田農業	14.7 ha	あ西
109	認農	D E	水田農業	4.0 ha	水田農業	13.0 ha	浮島・本新
110	認農法	D F	水田農業	11.9 ha	水田農業	13.0 ha	浮島・本新
111	認農法	D G	水田農業	22.8 ha	水田農業	25.0 ha	浮島・本新
112	認農	D H	水田農業	4.3 ha	水田農業	4.8 ha	浮島・結佐
113	認農	D I	水田農業	8.9 ha	水田農業	9.0 ha	浮島・あ北
114	認農	D J	水田農業	11.1 ha	水田農業	20.0 ha	浮島・結佐
115	認農法	D K	施設園芸	— ha	施設園芸	— ha	あ北
116	認農	D L	施設園芸	— ha	施設園芸	— ha	あ南
117	認農	D M	畜産	— ha	畜産	— ha	あ中
118	認農	D N	畜産	— ha	畜産	— ha	あ中
119	認農	D O	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
120	認農	D P	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
121	認農	D Q	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
122	認農法	D R	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
123	認農法	D S	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
124	認農	D T	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
125	認農法	D U	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
126	認農	D V	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
127	認農	D W	畜産	— ha	畜産	— ha	本新
128	認農法	D X	畜産	— ha	畜産	— ha	あ西
129	認就	D Y	水田農業	3.7 ha	水田農業	4.0 ha	あ西
				2038.1 ha		3268.4 ha	